



第8回 国内大会概要

March 12 – 13, 2020 大阪成蹊大学

観光の未来とサービス学 - 新しい観光の時代 -

日本は観光立国を目指して外国からの観光客を急速に増やしつつあります。3000万人を超える海外からの観光客は、大きな経済効果をもたらすとともに新しい社会現象を生み出しています。

これから多くの外国人労働者を受け入れる雇用先としても重要視されていますし、日本が提供する観光サービスの質が評価されるかどうかは「日本品質」の試金石としても試されています。観光という現象や体験は数多くの企業や組織が参加する観光システムのアウトプットでもあります。今回の学会ではインターネットが普及した環境で展開される新たな観光の現場に焦点を当てながらサービス学の展開を図っていきたいと考えています。

想定される論題

サービスエンジニアリング
サービスサイエンス
サービスマーケティング
サービス品質
顧客満足・エンゲージメント
従業員満足・エンゲージメント
製造業のサービス化
サービスデザイン
サービスイノベーション
観光システム
エコツーリズム
サービスプラットフォーム
ホテルマネジメント
デスティネーションマネジメント

発表者応募締切とプロセス

発表者の応募締切 11月下旬予定
発表原稿締切 2月初旬予定
大会プログラム 1月末

発表者応募のガイドライン

第7回大会に準ずる形で公開される予定です。ICserv2020とは独立して応募を受け付けます。

ICserv2020との併催：

第8回国内大会は、ICserv2020との併催となります。日程は重なりませんが、同じ会場で連続して開催されます。皆さんにどちらも参加して頂けるようにスケジュール等を工夫していきたくと思っています。

大会組織：

大会実行委員長 山本昭二
大会実行副委員長 国枝よしみ

大会会場：

大阪成蹊大学 相川キャンパス
阪急京都線相川駅より徒歩3分